

委託先の選定

1. 企画提案の選定基準

企画提案の評価項目は、次のとおり。（詳細は別紙「企画提案書評価の着眼点」を参照）

- ア 訓練内容
- イ 運営体制
- ウ 就職支援
- エ 経済性
- オ 加点要素（託児サービス付加等）

2. 企画提案の選定の方法

- ① 技専校等に設置する民間活用委託訓練事業等評価会議（以下、「評価会議」という。）において、提出された企画提案書について評価を行い、業務の目的に合致し、かつ最も評価の高い提案書を提出した者を選定します。ただし、最高点となった者の平均評価点が 100 点満点中 50 点未満の場合には業者の選定は行いません。
- ② 提案者が 1 者のみの場合であっても評価を行います。なお、その提案内容が業務の目的に合致しなければ、受託候補者が決定しない場合もあります。
- ③ 提出書類による評価の他、技専校等の判断により、提案者にプレゼンテーションを行っていただく場合があります。
- ④ 評価会議の開催日
各校が定める日時（詳細は、技専校等に確認をお願いします。）

3. 選定者、非選定者への通知及び公表に関する事項

- ① 企画提案書を提出した者のうち企画提案が選定され、見積業者に選定された者に対して、その旨を見積業者選定通知書により技専校等の長から通知します。
- ② 上記①以外の者に対して、選定されなかった旨及び選定しなかった理由（以下「非選定理由」という。）を見積業者非選定通知書により技専校等の長から通知します。
- ③ 見積業者と契約締結後遅滞なく、評価会議評価書、見積業者選定経過書及び契約情報を長野県公式ホームページに掲載するとともに、技専校等において閲覧に供します。

4. 非選定理由に関する事項

- ① 見積書非選定通知書を受けた者は、通知を受けた日の翌日から起算して 10 日（土曜日、日曜日及び休日は除く。）以内に、書面（様式自由）により技専校等の長に対して非選定理由について説明を求めることができます。
- ② 非選定理由についての説明を求められたときは、書面を受理した日の翌日から起算して 10 日以内（土曜日、日曜日及び休日は除く。）に書面により回答します。
- ③ 非選定理由の説明請求の受付
 - ア 受付場所 書類提出先
 - イ 受付時間 上記①の期間中、午前 9 時から午後 5 時まで。（土曜日、日曜日及び休日は除く。）

5. 公募型プロポーザル方式参加に際しての留意事項

- ① 失格又は無効
以下のいずれかの事項に該当する場合は、失格又は無効となることがあります。
 - ア 提出期限を過ぎて提出書類が提出された場合
 - イ 提出した書類に虚偽の内容を記載した場合
 - ウ 評価の公平性に影響を与える行為があった場合
 - エ 本実施公告に違反すると認められる場合
 - オ その他、あらかじめ指示した事項に違反した場合

② 著作権・特許権等

提出書類の内容に含まれる著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっている事業手法、維持管理手法等を用いた結果、生じた事象に係る責任は、すべて提案者が負うものとします。

③ 費用負担

公募型プロポーザル方式への参加に要する経費等は、参加者の負担とします。

④ その他

参加者は、公募型プロポーザル方式参加申込書の提出をもって、実施公告等の記載内容に同意したものとします。

企画提案書評価の着眼点

項目	評価項目の詳細	着 眼 点	配点
訓練内容	求人ニーズ対応	・企業の求人ニーズに対応した内容となっているか。	5
	受講生ニーズ対応	・受講生の興味が湧きそうな内容となっているか。	5
	技能習得の有効性	・就職につながりやすい資格取得等ができるか。	5
	訓練計画	・訓練日数、訓練時間の配分は適当か。	5
	資格取得者や就職者の実績	・委託訓練の受託実績がある場合は、その際の就職率等 ・新規参加者は、過去の同様な講座実施時の実績	10
	受講生負担	・教科書や工具等の受講生負担が生じるものについて必要最小限となっているか。	5
	(小 計)		(35)
運営体制	講師の確保	・講師数は、科目数等を勘案して適当か。また、経験のある講師を確保しているか。	5
	相談体制の確保	・受講生が資格取得等について相談できる体制が整っているか。	5
	自習、補講等への対応	・自習ができる教室等が確保されているか。 ・補講等への対応が明確になっているか。	5
	個人情報の取扱い	・個人情報の保護・管理が適切になされるか。	5
	訓練環境 (安全性、立地環境等)	・設備・衛生管理(感染拡大防止対策を含める)により安全に訓練が実施できる環境にあるか。 ・照明や換気設備等が効率的な訓練実施に資するものであるか。 ・訓練を実施する上で必要な教室面積(広さ)が確保されており、必要な備品を備えているか。 ・昼食場所等適切な休憩場所があるか。 ・受講生が通所しやすい場所か。車での通所となる場合は、近隣に駐車スペース等は確保されているか。	10
	(小 計)		(30)
就職支援	支援の内容	・就職支援の内容が効果的なものであるか。	10
	支援体制の確保	・職員を配置し、随時就職相談を実施するなどの支援体制が整備されているか。	10
	(小 計)		(20)
経済性	見積価格 (費用対効果)	・訓練の実施に必要な経費が適切に見積もられ、訓練の内容や期待される成果等から見て妥当な範囲内であるとともに、県の予算の範囲内であるか。	5
加点要素	その他	・独自性や斬新さがあり、提案内容が優れているか。 ・(一般民活のみ) 託児サービスを付加しているか。 ・(障がい者民活のみ) 障がい者への支援の実績や、訓練を実施する上での配慮等が十分であるか。	10
評 価 点 計			100